

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	国営公園等事業 (震災復興記念公園のあり方検討調査) (東日本大震災関連)		担当部局庁	都市局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	公園緑地・景観課	課長 舟引 敏明		
会計区分	一般会計		施策名				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「復興への提言 ～悲惨のなかの希望～(東日本大震災復興構想会議)」や「東日本大震災からの復興の基本方針(東日本大震災復興対策本部)」において、東日本大震災に係る鎮魂や復興の象徴となる施設等の整備について言及されていること、岩手県・宮城県等の被災自治体における復興計画において、復興象徴施設としての都市公園の整備が位置づけられていることを踏まえ、震災復興記念公園のあり方を検討することを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	震災復興記念公園のあり方(整備の意義・担うべき役割、必要な基本的な諸元、国と地方の役割分担等)について調査・検討を実施するため、被災地の自然条件、社会条件、被災状況、被災自治体における震災復興記念公園の構想、過去の災害等における復興記念施設の事例等について調査を行った。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算			50	0	0
		繰越し等			0	0	0
		計			50	0	0
	執行額			50			
	執行率(%)			99.1%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	「震災復興記念公園等のあり方の整理」を行うものであり、定量的な成果目標を示すことは困難	成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	震災復興記念公園等のあり方の検討に関する調査を実施するものであり、定量的な活動指標を示すことは困難	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国営公園等事業調査費	-	-	-			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・「東日本大震災からの復興の基本方針（東日本大震災復興対策本部）」に関連するとともに、複数の被災自治体の復興計画に位置付けられた事業に関連する調査であるため、優先度が高く、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・本調査は、震災復興祈念公園の整備の意義・担うべき役割、基本的諸元、国と地方の役割分担等について検討することを目的としており、支出先の選定にあたっては、公園設計等に係る知見だけでなく、多角的な観点からの高度な検討が求められることから、検討方法について広く提案を得て、それを外部の学識経験者からなる企画競争有識者委員会により評価し、優れた提案を選定する企画競争方式を導入しており、競争性は確保しているとともに、事業の目的に即した調査内容となっていることを確認している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・本調査は、「東日本大震災からの復興の基本方針（東日本大震災復興対策本部）」に関連するとともに、複数の被災自治体の復興計画に位置付けられた事業に関連するものであり、国が調査を行うことにより効果的に検討を進めることが可能である。 ・本調査の報告書は、ホームページに公表しており、被災地の復興事業の実施にあたって活用できるようにしている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本調査は、「東日本大震災からの復興の基本方針（東日本大震災復興対策本部）」に関連するとともに、複数の被災自治体の復興計画に位置付けられた事業に関連する調査であるため、優先度が高く、国が実施すべき事業である。 ・発注先の選定にあたっては、企画競争による手続において、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、提案の特定にあたり外部の学識経験者からなる企画競争有識者委員会による審査を行う等、より透明性・公平性の確保を図っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	復興-0019

※平成23年度実績を記入

国土交通省
50百万円

〔震災復興記念公園のあり方に関する
業務の作業指示及び検討を行う〕

【企画競争方式・随意契約】

A. 日本緑化センター・オオバ共同提案体
代表者(財)日本緑化センター
50百万円

〔震災復興記念公園に係る基礎調査、
東日本大震災復興記念公園検討会
議等の運営〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.日本緑化センター・オオバ共同提案体 代表者(財)日本緑化センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
国営公園等事業調査費	東日本大震災に係る鎮魂及び復興の象徴となる都市公園のあり方検討業務	50			
計		50	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.(財)日本緑化センター 50百万円

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本緑化センター・オオハ共同提案体 代表者 (財)日本緑化センター	東日本大震災に係る鎮魂及び復興の象徴となる都市公園のあり方 検討業務	50	随意契約 (企画競争)	100.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					